

## 2. 子どもたちの輝く声がきこえるまち うらやす

### (1) 子どもと家庭の健康の保持・増進

事業番号	25	事業名	【重点】 母子保健推進員活動				担当課	健康増進課
計画内容	母子保健推進員は、子育てしている家庭と行政のパイプ役となり、母子保健サービスの紹介や同じ地域に暮らす身近な存在として、子育ての相談に応じています。生後2～3か月頃に家庭訪問を行い、心配事の多い家庭については保健師に連絡し、継続的な支援につなげたり、ほのぼのタイムなど母子保健事業への協力なども行います。							
	母子保健推進員数	平成20年実績	35人	平成26年目標	35人			
	訪問件数	平成20年実績	1,445件	平成26年目標	充実			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>母子保健推進員29名で活動(新規委嘱6名。継続委嘱23名。)</p> <p>母子保健サービスの紹介や同じ地域で過ごす身近な存在として子育て相談を聞くことにより、子育てしている家庭と行政のパイプ役として、子育てに関する不安の軽減に努める。2～3か月児のいる家庭への訪問活動を行っている。</p> <p>母子保健推進員の定例会を年に10回、宿泊視察研修1回(2年に1回実施)、研修会(年2回)実施し、知識の向上・情報共有等行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問数 訪問1232名</li> <li>●定例会 年10回 参加者 延べ267名</li> <li>●宿泊視察研修 平成25年10月15日～16日 参加者18名</li> <li>●研修会 1回 参加者 8名</li> </ul>						
	評価	訪問率が9割近くであり多くの子育て家庭に訪問できている。身近な存在として子育て情報の提供および行政とのパイプ役になっている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
母子保健推進員数	目標	—						35人
	実績	35人		34人	32人	32人	29人	
訪問件数	目標	—						充実
	実績	1,445件		1,430件	1,386件	1,151件	1,232件	
平成26年度 事業予定	1年任期の新規委嘱を行い、今までの母子保健推進員の活動のよい面を切れ目なく引き継がれるようにする。訪問率を向上し、また、質のよい訪問ができるようにしていく。地域で活動できる場がないか、一緒に模索していく。							

事業番号	26	事業名	ウェルカムベビークラス等産前学級の実施	担当課	健康増進課			
計画内容	初産婦を対象に、妊娠・出産・育児に関する知識の普及や利用できるサービスの周知をすると同時に、同じように子育てをしていく親同士の友達づくり、夫婦で子育てをすることの大切さなどを伝えることを通し、子育て不安の軽減を図ります。							
	ウェルカムベビークラス 実施回数	平成20年実績	12回	平成26年目標	12回			
	妊婦健康講座実施回数	平成20年実績	8回	平成26年目標	6回			
	プレマクッキング	平成20年実績	4回	平成26年目標	6回			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>①ウェルカム！ベビークラス 初産婦（妊娠6か月以降）に対して、出産・育児の知識の提供、パートナーと協力していけるようなきっかけづくり、友達作りを目的としている。年12コース（3回1コース）実施。</p> <p>②妊婦健康講座 産婦人科医師、小児科医師など幅広くより専門の講義を実施。経産婦も対象としている。産婦人科医師講義3回。小児科医師講義3回。</p> <p>③プレマクッキング 子育てをスタートする妊婦に対して、食事を見直してもらう機会を設ける。特に「鉄分」や「野菜を多くとる工夫」「和食を見直そう」というテーマを取り上げて講話をし、実際に調理をすることによって実技を学び、適切な食事の量や味付けなどを知ってもらう。年6回。</p>						
	評価	妊娠期からの健康をサポートすることで、出産後の育児に向けた継続支援につながっている。居住地区に分かれてグループワークをすることで地域で子育てをしていく仲間を見つける機会となる。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ウェルカムベビークラス 実施回数	目標	—						12回
	実績	12回	12回	12回	12回	12回	12回	
妊婦健康講座 実施回数	目標	—						6回
	実績	8回	6回	6回	6回	6回	6回	
プレマクッキング	目標	—						6回
	実績	4回	5回	5回	6回	6回	6回	
平成26年度事業予定	「赤ちゃん」のイメージと「赤ちゃん」の泣きのイメージがついていない場合もあることから、乳児の泣きについて模型を使いながら説明していく。							

事業番号	27	事業名	新生児・妊産婦訪問指導の実施	担当課	健康増進課			
計画内容	出生連絡票に伴い、助産師等が家庭訪問をし、母親が心身共に健康な日常生活を送ることができるよう支援します。							
	訪問件数(新生児・未熟児・乳児含む)	平成20年実績	1,329件	平成26年目標	継続			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>対象： ①ハイリスク妊婦で、訪問が必要な者。 ②市内在住および市内里帰り中の生後4か月未満の乳児とその母 ③身体の発育が未熟のまま出生した乳児。概ね出生体重2,500g以下の者。妊娠中は、妊娠届出の状況や他部署等からの連絡より把握、産後は、出生連絡票、病院からの看護要約により把握し、訪問を実施している。</p>						
	評価	産後（生後）4か月未満の訪問率は9割前後と微増している状況であるが、里帰り期間の長期化、早期の職場復帰等で100%の全数把握にはならない。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
訪問件数(新生児・未熟児・乳児含む)	目標	—						継続
	実績	1,329件		1,378件	1,275人	1,255人	914人	
平成26年度事業予定	出生数に対し、訪問の割合は8～9割であるため維持を図る。医療機関と連携をとりながら、ハイリスク妊婦のフォローの充実を図る。							

事業番号	28	事業名	各種健診事業の実施				担当課	健康増進課
計画内容	妊婦一般健康診査、乳児一般健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、幼児歯科健診など各種の健診を行います。							
	1歳6か月児健診受診率	平成20年実績	97.1%	平成26年目標	継続			
	3歳児健診受診率	平成20年実績	92.5%	平成26年目標	継続			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	妊婦健康診査(14回分)、妊婦歯科健診(1回分)、乳児健康診査(3回分)は受診票を交付し医療機関委託にて実施。 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査は集団で実施。対象児には前月に個別通知している。 幼児歯科健診は2歳から未就学児を対象に予約制で実施している。						
	評価	妊婦健康診査は、健康な妊娠・出産となるよう公費負担している。乳児健診は発達節目に受診できるよう3回分公費負担している。 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査は身体的・精神的発達等の疾病の早期発見、保護者と一緒に児の発達を確認し、日々の悩みに沿いながら子育ての不安を軽減し、子育て支援の場となっている。 幼児歯科健診はむし歯の早期発見・早期治療に結びつき、むし歯予防の知識と技術を習得の場となっている。平成25年度受診者の95.8%は2歳児であり、4.5歳児は全体の1.8%にあたる。3歳児は3歳児健康診査にて受診できる。よって平成26年度からは対象者を絞り、むし歯予防効果の高いフッ化物塗布を加えた事業形態に変更する予定。妊婦歯科健診では妊婦自身の口腔衛生向上をとおして、生まれてくる児の健康管理に結び付けている。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1歳6か月児健診受診率	目標	—						継続
	実績	97.1%		96.9%	95.5%	96.6%	95.4%	
3歳児健診受診率	目標	—						継続
	実績	92.5%		91.6%	91.5%	92.4%	91.9%	
平成26年度事業予定	幼児歯科健診以外は変更なく、継続して実施予定。 幼児歯科健診は、9月まで継続。10月より「2歳6か月児歯科健診・フッ素塗布(健康センター)」を開始する。 対象は2歳6か月から11か月児とし、内容にフッ素塗布を追加して、よりむし歯予防に効果的な事業形態とする。							

事業番号	29	事業名	訪問指導の実施				担当課	健康増進課
計画内容	育児不安、事業等の事後指導等支援を必要とする家庭への個別支援を実施します。							
	延訪問指導件数	平成20年実績	1,139人	平成26年目標	継続			
平成25年度実施状況と評価	実施状況	保健師が必要に応じて新生児・乳幼児に訪問指導を実施している。(ハイリスク妊婦、育児不安や事業の事後指導等支援を必要とする家庭への個別支援) 養育困難家庭等については、こども家庭支援センターと連携のもと、訪問を実施している。						
	評価	母子保健事業と連携した訪問指導を実施している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延訪問指導件数	目標	—						継続
	実績	1,139人		621件	932件	794件	731件	
平成26年度事業予定	引き続き関係機関と連携しながら訪問指導を実施していく。							

事業番号	30	事業名	育児相談の実施	担当課	健康増進課			
計画内容	乳幼児期の成長発達を確認し、疾病や異常の早期発見・子育てに関する不安や悩みの軽減のために実施します。							
	相談者数	平成20年実績	677人	平成26年目標	継続			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>■ 育児相談年間24回 ②離乳食クラス年間12回</p> <p>① 市内在住の0歳から未就学児の親子を対象に、身体計測、保健師・助産師による発育・発達確認、育児相談を行っている。また、健康センターでの育児相談では栄養士による栄養相談、歯科衛生士による歯科相談を行っている。さらに、フォロー者に対しては、育児相談での経過観察や保健師等による継続指導につなげています。</p> <p>② 生後4～5カ月の親子を対象に、身体計測、栄養士による離乳食の始め方の講話、離乳食の試食(保護者のみ)、グループワーク、保健師による発育・発達確認、個別相談を行っています。</p>						
	評価	保護者の思いに添いながら、発育や発達の遅れを早期に発見し、継続的なフォローにつなげるかかわりを継続していきます。核家族化が進む中、相談する場があることは安心感にもつながり、育児不安の軽減ともなり、公的な場所で相談をすることで、友人には相談できないことも相談できるという安心感があり、来所者数も近年増えている現状です。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談者数	目標	—						継続
	実績	677人		1,339人	1,221人	1,255人	978人	
平成26年度 事業予定	核家族化等で身近に相談相手がいない母親にとって、育児方法について確認をしたり、相談する場があることは安心感にもつながり、育児不安の軽減ともなる。そのため今後も利用したいという声が利用者からも多い。また、公的な場所で相談をすることで、友人には相談できないことも相談できるという安心感があり来所者数も近年増えている現状があるため、継続して実施予定。(育児相談:健康センター一年12回、公民館年10回、離乳食クラス年12回開催予定)							

事業番号	31	事業名	健康教育の実施	担当課	健康増進課			
計画内容	子どもや保護者の健康を維持・増進するために、子どもの生活リズム、食生活、歯の健康など身近な健康に関する知識を講義や実践をとおして学ぶ機会をつくります。							
	実施回数	平成20年実績	33回	平成26年目標	継続			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>● 歯のすこやか教室(歯科保健教育) ; 主に、歯垢の染めだし、歯みがき実習。幼稚園14園は保護者教育も含めて実施。</p> <p>・保育園18園:18回(公立7、公設民営5、私立民営6);3～5歳児1,222人</p> <p>・幼稚園14園:16回(園児1,444人保護者698人)</p> <p>・小学校18校:18回(2,5年生, 3,467人) ・中学校8校:8回(1年生1,393人)</p> <p>・子ども発達センター2回(保護者27人・園児25人)</p> <p>・障がい者福祉センター2回(保護者13人・通所者94人)</p> <p>● 1歳児むし歯予防ビバー教室 : 月1回実施。歯みがきを嫌がる時期のむし歯予防のポイントの講話と実習</p> <p>・12回 377人</p> <p>● 子育て応援講座 : 2歳児の食事、おやつについて、2歳児との接し方について</p> <p>・11月に1回実施 34人</p> <p>● 出前講座 : 市民要望により随時受付、要望に即した内容を実施。</p> <p>・栄養2回(35人)、歯科7回(児153人)、保健師・助産師89回(2,690人)</p>						
	評価	むし歯のある児は年々減少していることから、歯科保健教育の効果が出ていると考えます。子育てサロン等の講座依頼が増加傾向にあり、地域の健康づくりを推進しています。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数	目標	—						継続
	実績	33回					175回	
平成26年度 事業予定	引き続き、市内保育園、幼稚園、小学校、中学校への健康教育をすすめます。また、市民の健康にプラスになるよう講座を開催したり、出前講座にも力を入れていきたい。							

## (2) 子どもの心と体の健康づくりの支援

事業番号	32	事業名	各種予防接種の実施				担当課	健康増進課
計画内容	乳幼児・児童・生徒を対象に、予防接種法で定められた予防接種を実施します。予防接種の必要性を周知し、接種勧奨をします。							
	麻しん風しん接種者	平成20年実績	3,342人		平成26年目標	継続		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>予防接種法に基づいて各種予防接種を実施。予防接種法の一部を改正する法律(平成25年法律8号)により予防接種の種類が増加しており、乳幼児の接種においては過密なスケジュールとなっている。予防接種の有効性や接種年齢・接種方法等の周知及び未接種者には再度の個別通知をするなど、十分な周知を図り接種率の向上に努めている。</p> <p>麻しん風しん混合予防接種は個別接種方式により、年間を通して第1期、第2期の2回接種を行っている。</p> <p>平成25年4月から平成26年3月末までの被接種者数 第1期1,240人 第2期 1,528人</p>						
	評価	一定の接種率を維持しており予防効果及び公衆衛生の向上に寄与している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
麻しん風しん接種者	目標	—						継続
	実績	3,342人		5,512人	5,706人	6,588人	2,768人	
平成26年度事業予定	<p>予防接種法に基づいて引き続き各種予防接種を実施する。</p> <p>平成26年度は第1期 1,243人 第2期 1,500人の接種を予定する。</p>							

事業番号	33	事業名	フッ化物塗布事業				担当課	健康増進課
計画内容	幼児期からのむし歯予防、口腔衛生の維持を図ることにより、生涯にわたり、より健康的な生活が送れるよう、フッ素の効果によるむし歯予防を実施します。							
	2歳児フッ素塗布者	平成20年実績	1,562件		平成26年目標	継続		
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<p>対象者は2歳児。</p> <p>フッ素塗布受診券を2枚発行し個別郵送。</p> <p>協力歯科医院にて1回500円で2回塗布する。</p>						
	評価	<p>2歳児の受診券利用率はえ40.5%と低い水準である。</p> <p>この点を解消すべく、平成26年度より事業形態を変更予定。</p>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
2歳児フッ素塗布者	目標	—						継続
	実績	1,562件		1,281人	1,319人	1,341人	1,218人	
平成26年度事業予定	<p>幼児歯科健診との事業統合により、現在歯科医院に2回実施しているものを、1回は歯科医院で、1回は健康センターで実施する予定。また現在500円の受益者負担金を無料とする予定。</p>							

事業番号	34	事業名	思春期講座の実施			担当課	健康増進課	
計画内容	思春期講座を実施し、子どもたち自身が自己を肯定し、命を大切にしながら成長できることを支援します。また、保護者に対しては子どもの健康をとりまく状況などについて情報提供及び知識の普及を行います。							
	受講者	平成20年実績	79人			平成26年目標	継続	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	思春期の子をもつ親、思春期を迎える子をもつ親対象に、家庭での子どもとの関わり方について理解を深め、思春期について考える機会とするための講座を実施する。						
	評価	幼稚園・保育園の保護者に就学を見据えた「見守る子育て、親子の力を高めるために～就園・就学のプチ親離れを乗り越える」を開催した。保護者からはわかりやすく参考になったとの意見があったことと、平日開催について曜日の変更の希望もあった。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受講者	目標	—						継続
	実績	79人		未実施	49人	45人	30人	
平成26年度事業予定	思春期を迎え自立した大人となるために親子の関わりを学ぶ機会として講座を実施していく。							

事業番号	35	事業名	生命や健康、性教育についての知識の普及推進			担当課	保健体育安全課	
計画内容	生命、健康、性などについて、子どもが正確な知識を学べる環境づくりを推進します。							
	保健学習の充実(市立全小・中)	平成20年実績	実施			平成26年目標	充実	
	保健だより・学校保健委員会等情報提供(市立全小・中)	平成20年実績	実施			平成26年目標	充実	
平成25年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の学校保健全体計画に基づき、発達段階に応じた保健学習や、保健便り等を活用した保健指導を行っている。</li> <li>浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムの指針における、いのちの教育(性教育)について、幼小中の系統性を重視しつつ各教科領域の関連も加味したカリキュラムへ見直しを行った。</li> <li>各学校の学校保健委員会において、生命や健康、性教育について保健学習の一環として講演会等を実施している。</li> </ul> <p>■平成26年3月末現在実績値 生命や健康、性についての講演会等実施校 小学校 11校 中学校 2校</p>						
	評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健年間計画に基づいた保健教育により、発達段階に応じた指導を実施できた。</li> <li>助産師、産婦人科医、保健センター職員等、地域の専門家と連携することで、性に関する指導を効果的に実施できた。</li> <li>給食センターの栄養士等の専門家と連携することで、食に関する指導をより効果的に推進できた。</li> <li>学校保健委員会の開催により、学校職員、学校医、保護者とともに、各学校の健康課題について共通理解を図ることができた。</li> </ul>						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保健学習の充実(市立全小・中)	目標	—						充実
	実績	実施		14校	14校	15校	13校	
保健だより・学校保健委員会等情報提供(市立全小・中)	目標	—						充実
	実績	実施		実施	実施	実施	実施	
平成26年度事業予定	引き続き生命、健康、性に関する教育の充実に向け、系統性のある計画に基づき保健学習を実施するとともに、学校保健委員会を活用した性教育や食に関する講演会の充実を図り、生命、健康、性などについて子どもが正確な知識を学べる環境づくりを推進する。							

### (3) 安心できる小児医療体制の整備

事業番号	36	事業名	子ども医療費助成の充実	担当課	こども家庭課			
計画内容	<p>中学3年生までの子どもが病気やケガで病院、診療所などで社会保険や国民健康保険により診療を受けたとき、保護者が負担した額(保険診療相当額)を申請により助成します。(小学生以上は通院1回200円、入院1日200円の自己負担あり)</p> <p>また、就学前の乳幼児が県内の病院等で医療を受ける際に、その窓口で保険証と一緒に提示すると医療費が概ね無料になる受給券を申請により発行します。</p>							
	延人数	平成20年実績	91,027人	平成26年目標	150,000人			
	件数	平成20年実績	200,831件	平成26年目標	300,000件			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	健康保険に加入している中学校3年生までの子どもが医療を受けた場合、保険診療相当額を助成している。また、県内の病院等で医療を受ける際、直接窓口にて、医療費助成が受けられる医療費助成受給券を発行している。						
	評価	平成24年12月から受給券対象者を小学校3年生までから中学校3年生まで拡大し、すべての助成対象者が現物給付の方法で医療を受診することが可能になった。利便性の高い現物給付方式の対象者が増えたため、平成25年度については平成24年12月と比べて延人数、件数ともに増加している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延人数	目標	—						150,000人
	実績	91,027人		120,553人	196,197人	220,559人	268,101人	
件数	目標	—						300,000件
	実績	200,831件		326,161件	333,434件	350,244件	377,452件	
平成26年度 事業予定	平成26年度も現行の制度を引き続き実施していく。							

事業番号	37	事業名	急病診療所	担当課	健康増進課			
計画内容	夜間や休日等に急病になった人の初期治療・応急手当の為の診療(内科・小児科・外科)を行います。							
	受診者数	平成20年実績	6,124人	平成26年目標	継続			
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	内科・小児科の初期治療と応急処置を毎日(365日)20時~23時、日曜日・祝日・年末年始(12/30~1/3)10時~17時に行っている。12月末までの患者数 夜間 2,424人 (うち小児科 1,046人)						
	評価	少しずつ受診者は減少しているが、一定の患者数を維持しており、急病時の市民の安心に寄与している。						
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数	目標	—		※小児の受診者数				継続
	実績	6,124人		2,136人	1,833人	1,742人	2,081人	
平成26年度 事業予定	継続する。							

事業番号	38	事業名	休日救急歯科診療所			担当課	健康増進課	
計画内容	休日等に急病になった人に対する応急処置を行います。							
	受診者数	平成20年実績	298人		平成26年目標	継続		
平成25年度 実施状況と 評価	実施状況	日曜、祝日、年末年始の9時から12時に開院し、歯科救急患者に対応する。 6歳未満の利用者 7人(全体の2.7%) 6-15歳未満の利用者 23人(全体の8.8%)						
	評価							
目標と実績値		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受診者数	目標	—		※大人を含む				継続
	実績	298人	272人	265人	290人	298人	262人	
平成26年度 事業予定	継続する。							